



学校だより 穂波平

令和5年度 第12号
富士宮市立富士宮第四中学校
静岡県富士宮市穂波町13-1
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓
考える

学校教育目標 「主体的に行動する生徒」
●伝え合い学び合う授業 ●認め合い高め合う仲間 ●磨き合い鍛え合う心と体

「困難にめげず生き抜く力」 校長 菊地 範士

本年度も残りわずかとなりました。授業日は今日を入れて8日です。今年度最後の全校集会ということなので、皆さんに「こんなふうに生きてほしい」と願いを込めてエールを送りたいと思います。

私は「花のある女の子の育て方」という酒井美意子さんが書いた本が好きで、時々読み直しています。この本は母親向けに書かれた育児本ですが、女の子に限らず男の子も含め、子育てに必要ないくつもの教えが書かれています。親としても、教師としても、子供本人でも十分に読む価値があると思っています。機会があったら皆さんにも読んでもらいたい本です。今日は、この本に書かれている一部を紹介し、今後の生き方の参考にしてほしいと思います。

「子育ての目的は何でしょう。それは子供の自立です。親という保護者なしでも子供が生き延びることができるのが、子育ての目的です。生活の糧を稼ぎ、食事を用意し、衣類を調達し、住まいを整える。そういうことを子供が一人でもできるように教えたとき込むことが子育てです。」と始まります。遠い昔の戦国時代、第一次、第二次世界大戦の時代、日本では「強くあれ」「負けてはならぬ」という家訓が一般的で、家庭内の教育は「誇り高くあれ。負け犬の姿をさらすな。敗者の惨めさを見せるな」とされ「勝ち抜くことが至上命令」だったようです。これは、「この子を残して先に死ぬのだ」という親の思いが常にあったからなのです。しかし、子供をどう育てるかは戦時中のような極限状況であっても、現代のような平和な時代であっても、根本は変わらないのです。

では、何に対して勝つのか？それはきっと「世の邪悪」や「自分の弱気」なのでしょう。「この先、あなたたちに襲いかかってくる厳しい現実や高い壁に、そしてその試練に負けず、自らの力で立ち向かってほしい。」そういう願いが込められていたのです。作者の酒井さんの家訓11条を紹介します。

- 一 甘んじていてはならない
- 一 常に堂々と主義主張を述べよ
- 一 名誉を尊べ
- 一 恥を知れ
- 一 弱音を吐くな
- 一 愚痴を言うな
- 一 空威張りをするな
- 一 弱い者いじめをするな
- 一 羨望や嫉妬を言動に表すのは醜いことと知れ
- 一 自分より劣った人間と
同じ土俵で相撲をとるな
- 一 とるにたらない相手は
無視し黙殺せよ



どうでしょうか。当たり前といえば当たり前ですが、なかなか難しいことでもあります。しかし、こういう考え方で日々を過ごしていくことで「芯はあくまでも強くしぶとく、絶対にへこたれず、しかし表面はソフトで優しい」そういう人になれるのです。つまり「外柔内剛」ということです。こういう力こそが「困難にめげず生き抜く力」だと思います。そんな力を備えた人になってもらいたい。皆さんのお家の方も、私もそう願っています。

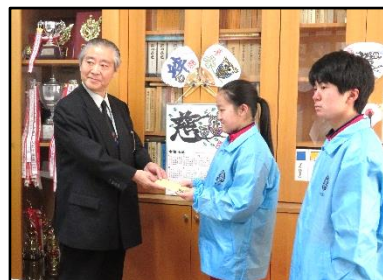
これからの人生には、いくつもの試練が待っています。楽しいことや成功ばかりではありません。苦しいこと、うまくいかないこと、大失敗など、たくさんの挫折を味わうことでしょう。しかし、それをなんとか乗り越えることで少しずつ成長していきます。ですから「自分に強く、自分に負けない。」そういう人になってください。そして「誰からも応援され、愛される人になれ。」これが、皆さんに送るエールです。

《3月全校集会・校長先生の話から》

能登半島地震災害義援金

今年1月1日に石川県能登半島において大規模な地震が発生しました。2月26日のニュースでは、地震による死者が241人、行方不明者が9人、避難生活を送っている人が1万1735人と報道されていました。富士宮市内5校の特別支援学級で、「私たちにできることはないか」と話し合いを行い、「福ろう製作所」の活動で得たお金から、被害にあった方たちに義援金を送ることとなりました。

3月1日に、日本赤十字社富士宮地区事務局の市社会福祉協議会会長（大田精一様）に義援金3万円を寄託しました。太田会長からは、「人を思いやる温かい気持ちをしっかり届けていきます」というお言葉をいただきました。



中学校紹介 令和6年2月7日



令和6年度に富士宮四中に入学する予定の富丘小学校と、貴船小学校の6年生に向け、1年生の各クラス学級委員が中学校紹介をリモートにて行いました。「四中生としての1日」「小学校と中学校の違い」「授業について」「部活動について」など、1年間中学校で生活して感じたこと、小学生

に準備してほしいことなどをそれぞれの言葉で伝えることができました。6年生から「勉強は大変ですか？」というストレートな質問に対して、「毎日の授業と、家での勉強をコツコツ取り組めば、難しい問題も解けるようになります。」と先輩らしい頼もしい回答をしていました。



学校評価について

学校評価について、多数のご意見、温かなお言葉を大変ありがとうございます。令和5年度に実施した学校評価についての集計結果を学校ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。